

すべての原発を廃炉にしよう！」 シリーズ6

福島第一原発4号機 ...『4階の恐怖！』

福島原発の事故が起きるまで、私は原発についてそこそこの知識を有していると思っていた。しかし自動停止した1号機3号機、そしてもともと停止していた4号機まで水素爆発が起きて愕然となった。なんで緊急停止した原子炉が爆発事故を起こすのだ？なんで使用済み燃料しかおいてないのに爆発事故が起きるのだ？

原子炉が停止しても、使用済み燃料が回収されても、燃料は熱を発生し続けるので何十年も冷やし続けなければならないのだということをはじめて知った。緊急停止するから安全だという電力会社のうそに私自身も信じ込まされていたのだ。

ドイツテレビの「フクシマの嘘」をみて再び愕然となった。4号機の使用済み燃料プールはその名前からしててっきり地面に設置されていると思っていたのだが、なんと4号機の建屋の4階にあるというではないか。(かつて福島原発につとめていた私の友人によれば、原子炉の上から使用済み燃料を引き抜くためプールは4階に設置してあるそうだ)建屋は地震と水素爆発で相当傷んでいることはいうまでもない。ひとたび大きな地震に見舞われれば崩壊の危険は十分にある。問題は建屋の崩壊そのものではない。建屋が崩壊すれば4階の使用済み燃料プールは地表に落下し跡形もなくなるだろう。地表にばらまかれた使用済み燃料の冷却は不可能であり、屋外でむき出しになった使用済み燃料の温度が急上昇し水蒸気爆発や再臨界にいたることは間違いない。ホースで冷却どころの話ではない。近づくことさえ出来ない。30キロ圏の避難どころの話ではないのだ。

このような状況が充分想定できるのに、原発の再稼働を画策する野田政権や電力会社や財界やわがJR東海の葛西会長らは犯罪者そのものであると思う。

すべての原発廃止の声をもっと大きく出そう！

【5/2東京新聞 こちら特報部】

『元駐スイス大使 信念訴え十数年 村田光平さん』

今年3月22日、参院予算委員会の公聴会。公述人として出席した村田さんは、穏やかな表情に強い意志をにじませながら、こう切り出した。

村田さんが特に訴えたのは、福島第一原発4号機の危険な状況だ。4号機の建屋の上部にある使用済み核燃料プールには、1535体の燃料集合体が今でも残っている。建屋は、水素爆発によって激しく壊れもろくなっている。

現在は何とか冷却できているが、地震などで倒壊することになれば、燃料棒は溶け出し、大量の放射性物質をまき散らす。……そうならば、放射性物質は広範囲に拡散し、「首都圏住民が避難を余儀なくされるだけにとどまらない。世界の究極の破局が始まる」と口調を強めた。

(投稿 平山裕一さん)